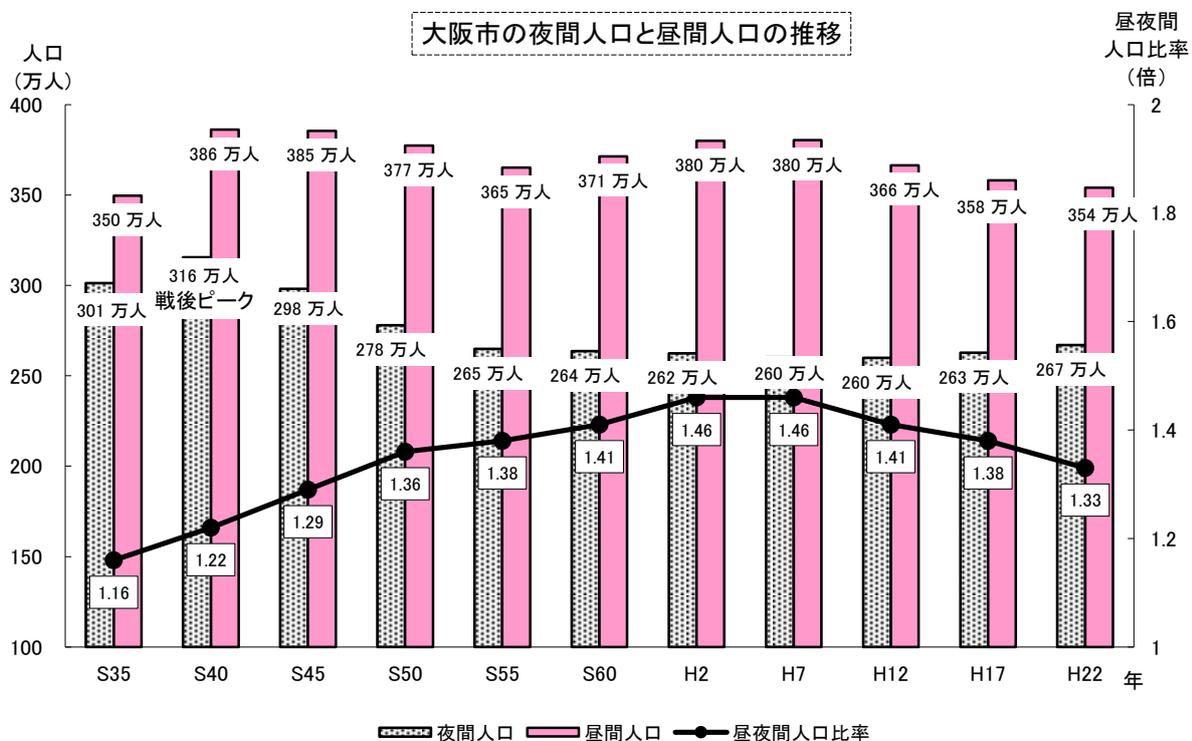


## ②膨大な昼間流入人口

- 大阪市の夜間人口は昭和40年の316万人をピークとして減少していましたが、近年は260万人台の水準で推移しています。また、昼間人口は、多少の増減はあるものの、350万人から380万人の水準で推移しています。
- 大阪시는事務所や事業所などが集中しており、昼間流入人口は、大都市の夜間人口に匹敵する規模となっています。
- このような物と人の集中により、財政需要は増嵩することになります。

### <物と人の集中により増嵩する財政需要>

都市基盤の充実(街路、公園事業など) 利便性の確保(地下鉄、バス事業など)  
 生活環境の充実(清掃、下水道事業など) 防災機能の充実(消防・救急業務など)



他都市の人口

(人)

	大阪市	東京都区部	横浜市	名古屋市	京都市	神戸市
夜間人口	2,665,314	8,945,695	3,688,773	2,263,894	1,474,015	1,544,200
昼間流入人口	a					
昼間流出人口	b					
昼間人口	c					
d=a+b-c	3,538,576	11,711,537	3,375,330	2,569,376	1,599,037	1,583,765
昼夜間人口比率	d/a					
	1.33	1.31	0.92	1.13	1.08	1.03

資料:平成22年国勢調査